

2017年8月17日

各位

J A三井リース株式会社

ジェネシア・ベンチャーズが組成する
「Genesia Venture Fund 1号投資事業有限責任組合」への出資について

当社は、株式会社ジェネシア・ベンチャーズ（本社：東京都港区、代表取締役：田島聡一、以下「ジェネシア・ベンチャーズ」）が組成する「Genesia Venture Fund 1号投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」）に出資しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 出資参画の目的

ジェネシア・ベンチャーズは、デジタルビジネスに特化した、創業後間もないベンチャー企業に対し投資するファンド運営を目的に2016年8月に設立され、同社が組成する本ファンドでは、主として日本・北米・東南アジア地域（主としてASEAN主要国）において、以下を事業領域とするベンチャー企業を投資対象としています。

【対象事業領域】

I. ニューエコノミー／デジタルメディア・コンテンツ周辺領域
C2C (EC、SERVICE) /シェアリングエコノミー/クラウドソーシング/非中央集権型プラットフォーム周辺領域/ビデオ、AR、VR、MR など新たなメディアやコンテンツフォーマット周辺領域
II. リアルとITの融合によるデジタル・トランスフォーメーション周辺領域
テクノロジーや、センサー・ソフトウェア・API などを通じて集約したデジタルデータの活用により、金融、通信、出版、建築、不動産、医療、製造業、農業など既存産業の産業構造自体に再定義をもたらすデジタル・トランスフォーメーション周辺領域
III. フロンティア・テック周辺領域
ロボットやドローン・低軌道衛星など新たな産業のソフトウェア領域や、特定領域に特化したAI などによって生み出されるデジタル・イノベーション周辺領域

当社は、中期経営計画「Real Change 2020」にて、成長が期待できるICT分野を戦略分野と位置付けており、本ファンドへの出資並びにジェネシア・ベンチャーズとの協業を通じて、ICT分野における有望なスタートアップ企業の成長を支援していくとともに、知見や目利き力を高め、専門性を活かした国内外でのIT関連ビジネスを拡充してまいります。

2. ジェネシア・ベンチャーズおよび本ファンド概要

【ジェネシア・ベンチャーズ】

商号	株式会社ジェネシア・ベンチャーズ
設立	2016年8月31日
代表者 (主な経歴)	田島聡一 1997年4月 (株)さくら銀行(現(株)三井住友銀行) 入行 2005年1月 (株)サイバーエージェント入社 2010年8月 (株)サイバーエージェント・ベンチャーズ 代表取締役 2016年8月 (株)ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役
本社所在地	東京都港区南青山三丁目1番3号 スプライン青山東急ビル6階
資本金	1百万円
事業内容	投資事業有限責任組合の組成、運営、管理

【本ファンド】

名称	Genesia Venture Fund 1号投資事業有限責任組合
運営者(無限責任組合員)	GV Partners 有限責任事業組合
出資者(有限責任組合員)	株式会社みずほ銀行、みずほキャピタル株式会社、日本ユニシス株式会社のCVCであるキャナルベンチャーズ株式会社が運営する投資事業有限責任組合、当社、東急不動産株式会社、株式会社丸井グループなど、国内の大手事業会社および金融機関
出資総額	約20億円(1次募集締切時点)

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

経営企画部 広報IR室 電話：03-6775-3002